

平成30年度第2回千葉市救急業務検討委員会

日時：平成31年2月19日（火）

19時00分～20時00分

場所：千葉市消防局（セーフティーちば）

7階「作戦室」

次 第

1 開会

2 議事概要報告

「平成30年度第1回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

3 議題

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

4 報告

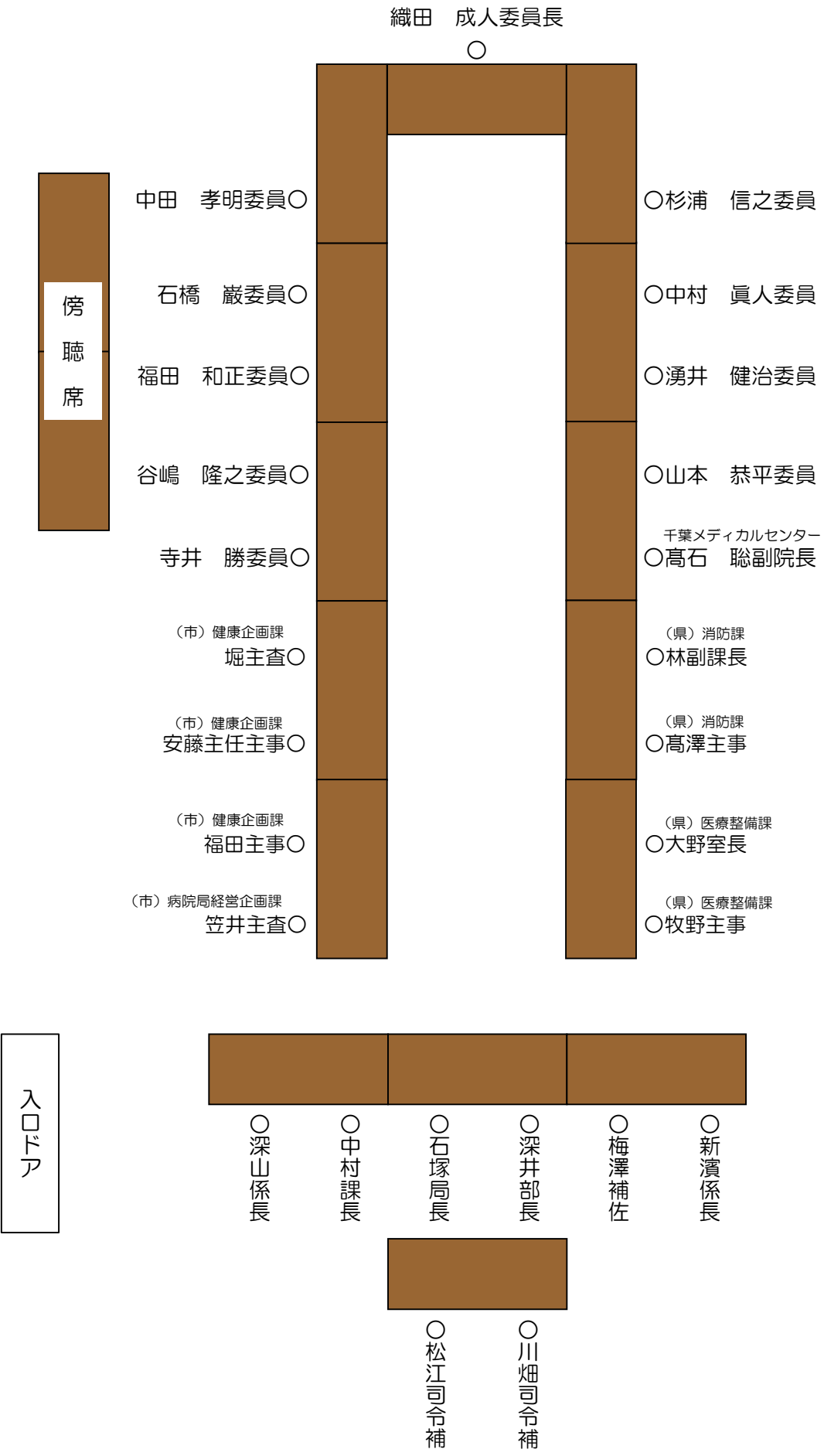
平成30年主要業務（指示・指導及び助言、事後検証、教育）の実施状況について

5 その他

次年度第1回千葉市救急業務検討委員会の開催予定について

6 閉会

平成30年度第2回千葉市救急業務検討委員会席次表



平成30年度第1回千葉市救急業務検討委員会

議 事 概 要

1 日 時 平成30年6月7日（木）19時00分から20時30分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

3 出席者

（1）委 員（11人）

織田 成人委員長、石橋 巖委員、杉浦 信之委員、中田 孝明委員、
湧井 健治委員、景山 雄介委員、中田 泰彦委員、福田 和正委員、
谷嶋 隆之委員、山本 恭平委員、寺井 勝委員

（2）事務局

石塚局長、深井警防部長、中村救急課長、梅澤救急課長補佐、深山救急管理係長、
新濱高度化推進係長、松江司令補、川畑司令補

（3）オブザーバー

千 葉 県：林副課長（防災危機管理部消防課）
高澤主事（防災危機管理部消防課）
高橋主事（防災危機管理部消防課）
大野室長（健康福祉部医療整備課）
牧野主事（健康福祉部医療整備課）
千 葉 市：鈴木課長（保健福祉局健康部健康企画課）
平野課長補佐（保健福祉局健康部健康企画課）
堀主査（保健福祉局健康部健康企画課）
安藤主任主事（保健福祉局健康部健康企画課）
笠井主査（病院局経営企画課）

4 会議内容

（1）議事概要報告

「平成29年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

（2）議題

- ア 議題1 委員長の選出及び職務代理者の指名について
- イ 議題2 外傷処置に関する教育について
- ウ 議題3 平成30年度千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」の運用開始について

（3）報告

- ア 報告1 平成29年指令センター医師常駐体制運用状況について
- イ 報告2 千葉県救急業務高度化推進協議会認定指導救命士について

ウ 報告3 救急救命士の特定行為認定取得の実施計画について

5 議事概要

(1) 「平成29年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

平成30年3月9日（金）に開催された平成29年度第2回千葉市救急業務検討委員会の議事概要は、平成30年度第1回千葉市救急業務検討委員会の会議資料として、事務局から各委員宛てに事前配布されていたことから、議事概要に関する疑義、意見等なく了承された。

(2) 議題1 委員長の選出及び職務代理者の指名について

本委員会の委員の委嘱期間満了に伴い、新たに委員の委嘱が行われたことから、本委員会設置条例に基づき委員長の選任を行った。織田委員が推挙され、審議を行った結果、各委員から異議等はなく織田委員が委員長として選任された。また、職務代理者として石橋委員が指名された。

(3) 議題2 外傷処置に関する教育について

事務局から救急隊員の外傷処置に関する知識・技術を向上させるための教育の実施について説明があり、救急隊員の再教育において外傷処置に関する教育を拡充させること、千葉市消防学校における専科教育の救急科救急課程の中に本委員会主催のJPTECプロバイダー養成コースを組み入れることについて承認された。

(4) 議題3 平成30年度千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」の運用開始について

事務局から事業の概要及び経緯、「救急搬送困難事例の解消に向けた連絡会」での協議結果について説明があり、連絡会の審議結果どおり、救急搬送困難事例解消協力医療機関を6医療機関に拡充するとともに、「受入医療機関確保基準（案）」のとおり運用することについて承認され、細部事項については必要なデータを示した上で次回の連絡会等で調整することとなった。また、協力医療機関の当直情報を消防機関及び協力医療機関で共有すること、協力医療機関に照会しても終了医療機関の決定が困難であった場合に常駐医師が介入することについて提案があった。

(5) 報告1 平成29年指令センター医師常駐体制運用状況について

事務局から、平成29年指令センター医師常駐体制運用状況について報告があった。

(6) 報告2 千葉県救急業務高度化推進協議会認定指導救命士について

事務局から、本局歴代指導救命士12人が千葉県救急業務高度化推進協議会から指導救命士の認定を受けたことについて報告があった。

(7) 報告3 救急救命士の特定行為認定取得の実施計画について

事務局から、平成30年度に実施する特定行為の認定取得のための病院実習及び処置範囲拡大二行為の認定取得のための追加講習の実施計画について報告があった。

議題

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

議案要旨

平成30年8月から運用を再開した千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について、運用状況及び協力医療機関（受入確保基準対象医療機関）から聴取した運用に関する意見について御説明し、平成31年度の運用について審議していただくものです。

- 資料1－1 平成30年度千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」運用状況
- 資料1－2 平成30年度千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」意見聴取結果
- 資料1－3 平成31年度受入医療機関確保基準救急隊活動フロー（案）

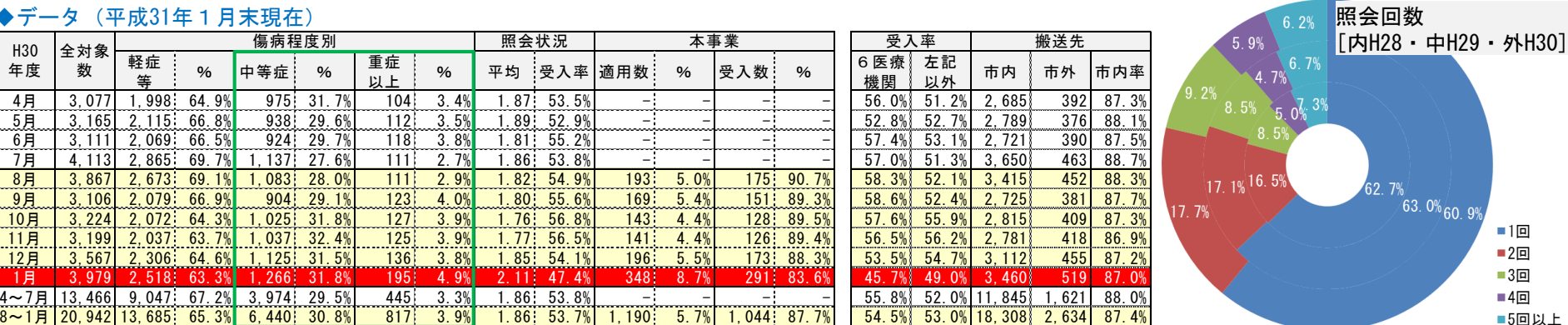
- 1 事業概要
- 消防法第35条の5第2項第6号(以下「確保基準」という。)の規定により、傷病者の搬送困難事例を解消させるため、県が平成29年8月から開始した事業(年度末で終了)。今年度は運用方法を見直して平成30年8月から再開。
- 2 運用方法
- 法第35条の5 都道府県は、消防機関による救急業務としての傷病者の搬送及び医療機関による当該傷病者の受入れの迅速かつ適切な実施を図るため、傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準を定めなければならない。
- 2 実施基準においては、都道府県の区域又は医療を提供する体制の状況を考慮して都道府県の区域を分けて定める区域ごとに、次に掲げる事項を定めるものとする。
- 四 消防機関が傷病者の搬送を行おうとする医療機関を選定するための基準
- 五 消防機関が傷病者の搬送を行おうとする医療機関に対し傷病者の状況を伝達するための基準
- 六 前二号に掲げるもののほか、傷病者の受入れに関する消防機関と医療機関との間の合意を形成するための基準その他傷病者の受入れを行う医療機関の確保に資する事項

4 運用状況(平成31年1月末現在) <<各年度8~1月で比較>>

年度	全対象数※1	本事業適用	適用率	本事業受入	受入率	本事業で受入不可も運用全体※2で受入れとなったもの	受入率(実質)
	[A]	[B]	[B/A]	[C]	[C/B]	[D]	[(C+D)/B]
H28	20,086					(参考: 照会5回以上7.3%・6回以上4.4%)	
H29	20,411	667	3.3%	518	77.7%	60	86.7%
H30	20,942	1,190	5.7%	1,044	87.7%	32	90.4%

※1 救急隊が医療機関を照会し選定したもののみが対象(家族等による連絡済み、転院搬送等は除外)
※2 H29は参画3医療機関、H30は参画7医療機関(6医療機関+県救急医療センター)

5 H29年度事業と比較して約2倍の受入・受入率は90.4%(実質)



H30年度	6医療機関計			みつわ台総合			市立青葉			千葉メディカル			千葉中央メディカル			市立海浜			千葉大学		
	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合	受入数	うち本事業	受入割合
4月	1,511	-	49.1%	380	-	12.3%	312	-	10.1%	279	-	9.1%	259	-	8.4%	173	-	5.6%	108	-	3.5%
5月	1,470	-	46.4%	353	-	11.2%	325	-	10.3%	239	-	7.6%	254	-	8.0%	176	-	5.6%	123	-	3.9%
6月	1,504	-	48.3%	351	-	11.3%	296	-	9.5%	274	-	8.8%	309	-	9.9%	169	-	5.4%	105	-	3.4%
7月	1,973	-	48.0%	447	-	10.9%	390	-	9.5%	365	-	8.9%	388	-	9.4%	271	-	6.6%	112	-	2.7%
8月	1,937	175	50.1%	444	35	11.5%	415	71	10.7%	356	15	9.2%	344	28	8.9%	253	-	6.5%	125	-	3.2%
9月	1,604	151	51.6%	357	22	11.5%	306	68	9.9%	283	9	9.1%	335	19	10.8%	216	15	7.0%	107	18	3.4%
10月	1,566	128	48.6%	344	22	10.7%	313	38	9.7%	264	10	8.2%	313	22	9.7%	193	17	6.0%	139	19	4.3%
11月	1,567	126	49.0%	387	26	12.1%	285	38	8.9%	281	14	8.8%	322	20	10.1%	177	11	5.5%	115	17	3.6%
12月	1,687	173	47.3%	352	22	9.9%	326	59	9.1%	308	9	8.6%	339	31	9.5%	203	23	5.7%	159	29	4.5%
1月	1,818	291	45.7%	352	35	8.8%	391	114	9.8%	296	20	7.4%	295	33	7.4%	306	40	7.7%	178	49	4.5%
4~7月	6,458	-	48.0%	1,531	-	11.4%	1,323	-	9.8%	1,157	-	8.6%	1,210	-	9.0%	789	-	5.9%	448	-	3.3%
8~1月	10,179	1,044	48.6%	2,236	162	10.7%	2,036	388	9.7%	1,788	77	8.5%	1,948	153	9.3%	1,348	106	6.4%	823	132	3.9%

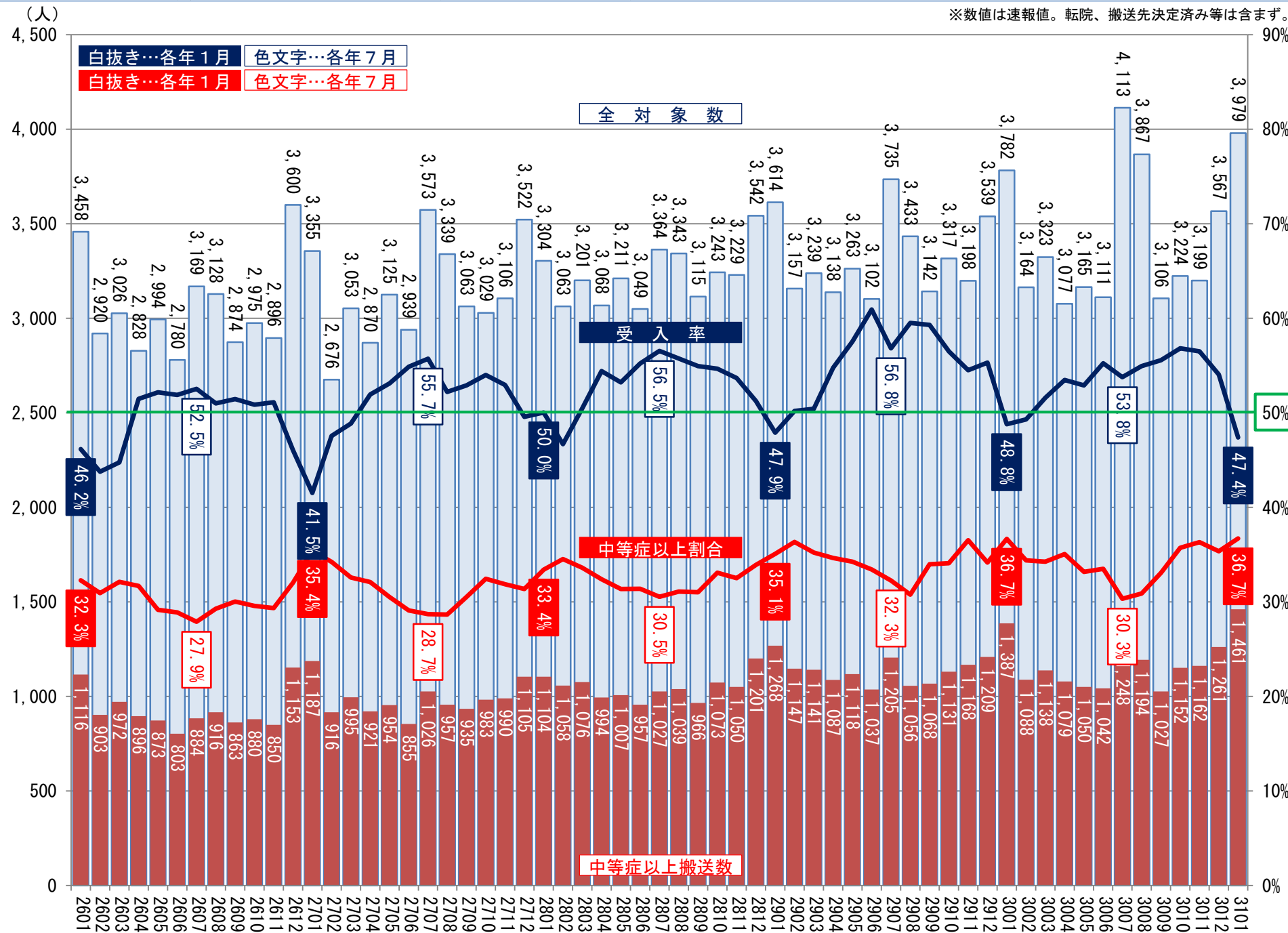
12月までの受入状況は概ね順調だったものの、前年度と同様、1月は厳しい状況に。

平均照会2.11回
適用348人・受入291人
→12月以降における中等症以上の増加が空床数を減少させ受入困難に?
(次年度以降も同様?)

※数値は速報値。
転院、搬送先決定済等は含まず。

月別救急搬送状況（平成26年1月～平成31年1月）

※数値は速報値。転院、搬送先決定済み等は含まず。



受入確保基準照会状況（平成30年8月1日～平成31年1月31日）

全対象数	[A+C+D]…①	20,942	※救急隊が医療機関を照会し選定したもののみが対象（家族等による連絡済み、転院搬送等は除外）	
受入確保基準適用	[A+B]…②	1,190	適用率 [②／①]	5.68%
6医療機関受入数	[A]…③	1,044	受入率 [③／②]	87.7%

※速報のため、各数値が一致しない場合あり

【受入確保基準適用】														※12回以上は手入力	
【照会数】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	0	1	8	11	190	115	34	11	6	2	3	0	381		
千葉市立青	0	1	8	29	257	134	98	38	6	6	1	0	578		
千葉メディ	0	0	8	20	135	83	40	18	9	1	0	0	314		
千葉中央メ	1	0	6	13	143	89	35	24	10	3	1	0	325		
千葉市立海	0	0	4	10	257	44	23	11	2	4	2	1	358		
千葉大学医	0	1	21	9	57	48	35	27	18	13	0	3	232		
計	1	3	55	92	1,039	513	265	129	51	29	7	4	2,188		

※12回7件、13回2件、14回4件、15回1件、17回1件、18回1件、19回1件

【受入数】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	0	1	1	2	88	48	16	2	2	1	1	0	162		
千葉市立青	0	1	5	17	181	87	62	24	4	6	1	0	388		
千葉メディ	0	0	2	3	38	18	8	4	4	0	0	0	77		
千葉中央メ	1	0	2	8	74	40	14	9	3	1	1	0	153		
千葉市立海	0	0	0	4	94	13	5	1	1	0	0	0	118		
千葉大学医	0	1	12	6	36	28	23	18	10	11	0	1	146		
計	1	3	22	40	511	234	128	58	24	19	3	1	1,044		
上記以外 *1	0	0	0	0	1	3	38	33	21	18	10	6	146		
うち2病院*2	0	0	0	1	1	8	7	3	4	2	2	4	32		

*1 基準適用時受入不可でその後受入可の場合はここに計上 *2 県救急・千葉大（基準適用外のみ）：手入力

【受入率】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	-	100.0%	12.5%	18.2%	46.3%	41.7%	47.1%	18.2%	33.3%	50.0%	33.3%	-	42.5%		
千葉市立青	-	100.0%	62.5%	58.6%	70.4%	64.9%	63.3%	63.2%	66.7%	100.0%	100.0%	-	67.1%		
千葉メディ	-	-	25.0%	15.0%	28.1%	21.7%	20.0%	22.2%	44.4%	0.0%	-	-	24.5%		
千葉中央メ	100.0%	-	33.3%	61.5%	51.7%	44.9%	40.0%	37.5%	30.0%	33.3%	100.0%	-	47.1%		
千葉市立海	-	-	0.0%	40.0%	36.6%	29.5%	21.7%	9.1%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.0%		
千葉大学医	-	100.0%	57.1%	66.7%	63.2%	58.3%	65.7%	66.7%	55.6%	84.6%	-	33.3%	62.9%		
計	100.0%	100.0%	40.0%	43.5%	49.2%	45.6%	48.3%	45.0%	47.1%	65.5%	42.9%	25.0%	47.7%		

※覚知基準 適用/全対象↓ 受入/適用↓ 受入/照会↓

適用時照会	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	時間帯	全対象	適用	率	受入	率	照会	率
みつわ台総	207	119	38	12	5	0	0-2	1,524	137	9.0%	123	89.8%	252	48.8%
千葉市立青	291	154	95	31	7	0	3-5	1,262	117	9.3%	97	82.9%	212	45.8%
千葉メディ	160	102	28	15	9	0	6-8	2,741	113	4.1%	102	90.3%	194	52.6%
千葉中央メ	161	97	39	18	10	0	9-11	3,488	124	3.6%	105	84.7%	245	42.9%
千葉市立海	278	37	24	9	3	6	12-14	3,129	130	4.2%	117	90.0%	247	47.4%
千葉大学医	93	46	43	24	13	11	15-17	3,212	222	6.9%	193	86.9%	403	47.9%
計	1,190	555	267	109	47	17	18-20	3,137	187	6.0%	167	89.3%	343	48.7%
割合	54.5%	25.4%	12.2%	5.0%	2.2%	0.8%	21-23	2,449	160	6.5%	141	88.1%	295	47.8%
							計	20,942	1,190	5.7%	1,045	87.8%	2,191	47.7%

適用時受入↓	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	※覚知基準	適用/全対象↓	受入/適用↓	受入/照会↓				
みつわ台総	91	46	20	4	1	0	曜日	全対象	適用	率	受入	率	照会	率
千葉市立青	207	98	59	19	5	0	月	3,148	167	5.3%	143	85.6%	318	45.0%
千葉メディ	44	18	8	3	4	0	火	2,922	129	4.4%	107	82.9%	246	43.5%
千葉中央メ	87	44	13	6	3	0	水	2,901	141	4.9%	123	87.2%	242	50.8%
千葉市立海	101	11	4	2	0	0	木	2,877	142	4.9%	123	86.6%	267	46.1%
千葉大学医	60	28	28	13	9	9	金	2,881	159	5.5%	141	88.7%	301	46.8%
計	590	245	132	47	22	9	土	3,142	259	8.2%	231	89.2%	465	49.7%
割合	56.5%	23.4%	12.6%	4.5%	2.1%	0.9%	日	3,071	193	6.3%	177	91.7%	352	50.3%
							計	20,942	1,190	5.7%	1,045	87.8%	2,191	47.7%

【受入確保基準非適用】														※12回以上は手入力	
【照会数】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	1,709	838	567	292	16	3	4	2	0	0	1	0	3,432		
千葉市立青	1,023	702	526	297	13	6	8	6	1	0	1	0	2,585		
千葉メディ	2,386	1,017	480	240	10	5	2	1	1	0	0	0	4,142		
千葉中央メ	1,628	818	497	246	8	3	2	2	0	0	0	0	3,205		
千葉市立海	1,393	478	174	75	4	2	2	2	1	0	0	0	2,132		
千葉大学医	662	165	74	48	7	7	6	5	5	2	2	5	988		
小計	8,801	4,018	2,318	1,198	58	26	24	18	8	2	4	9	16,484		
上記以外	12,140	4,160	2,102	1,250	199	146	97	57	51	30	20	39	20,291		

※12回9件、13回3件、14回4件、15回1件、17回1件、18回1件、19回1件

【受入数】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	1,191	444	265	166	4	1	1	2	0	0	0	0	2,074		
千葉市立青	718	410	300	199	5	2	6	5	1	0	1	1	1,648		
千葉メディ	1,167	345	135	60	2	1	0	0	1	0	0	0	1,711		
千葉中央メ	1,094	354	214	126	4	0	1	1	0	0	0	0	1,795		
千葉市立海	878	240	71	36	1	1	0	2	1	0	0	0	1,230		
千葉大学医	493	96	34	27	3	5	4	3	4	1	2	5	677		
小計	5,541	1,889	1,019	614	19	10	12	13	7	1	3	7	9,135		
上記以外	7,219	1,814	894	590	81	55	42	23	18	10	5	12	10,763		

※左表の*1(B)は上の2表にも計上

【受入率】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計		
みつわ台総	69.7%	53.0%	46.7%	56.8%	25.0%	33.3%	25.0%	100.0%	-	-	0.0%	-	60.4%		
千葉市立青	70.2%	58.4%	57.0%	67.0%	38.5%	33.3%	75.0%	83.3%	100.0%	-	100.0%	50.0%	63.8%		
千葉メディ	48.9%	33.9%	28.1%	25.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	-	-	-	41.3%		
千葉中央メ	67.2%	43.3%	43.1%	51.2%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	100.0%	56.0%		
千葉市立海	63.0%	50.2%	40.8%	48.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	-	-	0.0%	57.7%		
千葉大学医	74.5%	58.2%	45.9%	56.3%	42.9%	71.4%	66.7%	60.0%	80.0%	50.0%	100.0%	100.0%	68.5%		
小計	63.0%	47.0%	44.0%	51.3%	32.8%	38.5%	50.0%	72.2%	87.5%	50.0%	75.0%	77.8%	55.4%		
上記以外	59.5%	43.6%	42.5%	47.2%	40.7%	37.7%	43.3%	40.4%	35.3%	33.3%	25.0%	30.8%	53.0%		

【全対象照会受入状況】					※平均照会数（全体）は(a+c+d)/①で算出									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～	計	
全体	12,761	3,706	1,935	1,244	611	299	182	94	49	30	11	20	20,942	
割合	60.9%	17.7%	9.2%	5.9%	2.9%	1.4%	0.9%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	平均	
累計割合	60.9%	78.6%	87.9%	93.8%	96.7%	98.2%	99.0%	99.5%	99.7%	99.9%	99.9%	100.0%	1.86	
重症以上	548	159	49	25	10	11	2	7	1	3	0	0	815	
割合	67.2%	19.5%	6.0%	3.1%	1.2%	1.3%	0.2%	0.9%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	平均	
累計割合	67.2%	86.7%	92.8%	95.8%	97.1%	98.4%	98.7%	99.5%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	1.64	
中等症	3,727	1,067	627	463	242	128	79	48	28	15	6	10	6,440	
割合	57.9%	16.6%	9.7%	7.2%	3.8%	2.0%	1.2%	0.7%	0.4%	0.2%	0.1%	0.2%	平均	
累計割合	57.9%	74.4%	84.2%	91.4%	95.1%	97.1%	98.3%	99.1%	99.5%	99.8%	99.8%	100.0%	2.04	
軽症等	8,484	2,480	1,259	756	359	160	101	39	20	12	5	10	13,685	
割合	62.0%	18.1%	9.2%	5.5%	2.6%	1.2%	0.7%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	平均	
累計割合	62.0%	80.1%	89.3%	94.8%	97.5%	98.6%	99.4%	99.7%	99.8%	99.9%	99.9%	100.0%	1.79	
	≥5回				≥8回				≥10回					
全体	1,296		6.19%		全体	204		0.97%		全体	61		0.29%	
重症以上	34		4.17%		重症以上	11		1.35%		重症以上	3		0.37%	
中等症	556		8.63%		中等症	107		1.66%		中等症	31		0.48%	
軽症等	706		5.16%		軽症等	86		0.63%		軽症等	27		0.20%	

●千葉市立青葉病院

●千葉市立海浜病院

意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 ☒意見あり • ☐意見なし (いずれかを○でお囲みください。)
意見内容 〔「意見あり」場合は、御記入ください。〕	① 千葉市立青葉病院に集中し過ぎです。多施設で“痛みを分かち合う”体制が必要と考えますし、それが自発的に達成できないのであれば、ある程度の強制力あるいは報奨制度が必要と考えます。 ② 上記とも被りますが、インセンティブは必要です。 ③ 現在議論されている救急告示病院で2次対応できない病院に1次～1.5次を担ってもらい、さらには地域で1次から2次まできちんとカバーするシステム作りをぜひなるべく早く実現していただきたいと思います。

意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 ☒意見あり • ☐意見なし (いずれかを○でお囲みください。)
意見内容 〔「意見あり」場合は、御記入ください。〕	基準に関する意見ではありませんが、2019年4月より、平日日中の受入体制を強化し、受入率の向上に努めますので、引き続きよろしくお願いします。

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

●千葉大学医学部附属病院

●千葉中央メディカルセンター

意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 ○意見あり ・ 意見なし (いずれかを○でお囲みください。) 紹介	意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 意見あり ・ 意見なし (いずれかを○でお囲みください。)
意見内容 〔「意見あり」場合は、御記入ください。〕	・ 当院の「受け入れ支援」患者の受け入れ率は62%と通常時の受け入れ率とほぼ変わらない結果である。これは院内での急変対応や先に受け入れた重症患者診療の間に他施設への要請を依頼した場合や、受け入れ病床が確保できなくなった時期に絶対的に入院が必要と考えられる患者を入院できる可能性のある施設への収容要請を止むを得ず依頼したことなどが反映されていると考えられる。 ・ 一方で、これまで大学病院には収容を依頼されなかった可能性がある症例を150例近く受け入れている。これは当院に支給された補助金を医師（特任助教）1名の増員に必要な給与財源として利用することで達成できた。来年度以降も受け入れを促進するため、本事業を継続して各施設での医師をはじめとした医療スタッフなどの確保に必要な財源を獲得することが望ましいと考えられる。 ・ 補助金を受けて参加医療機関との協力体制を作ることによって成立する事業である以上、上記のような対策が相互にオープンにされることが医療機関同士の信頼関係に寄与するのではないかと考えられる。 ・ 各施設の役割分担も再考する必要があるかもしれない。各施設同列では受け入れ後の対応（想定外に重症、長期入院を要する、など）に不安が残ることで受け入れが促進されない可能性がある。当日の受け入れだけでなく、その後の後方支援（重症例の当日転院、非重症例の下り搬送）も含めた役割分担も検討の余地がある。	意見内容 〔「意見あり」場合は、御記入ください。〕	・ 要請時に「受入支援」と言わず、何件目ですか？と追いつけさせると5件目以上であり、「受入支援」と後から申出るケースが多々有ります。最初からお伝えして頂きたい。 ・ 受入する病院としない病院の差が有り過ぎ、同じ地域で受入する病院に頼り過ぎている感が有ります。 ・ 要請地点から直近順に要請するルールが守られていないような気がします。 ・ 受入後、「傷病者観察等記録票」の「医療機関照会」に5件目以上で記載されているので、「受入支援」ですかと問い合わせた際、後から実際は4件目で非該当と言われるケースが多々有ります。 ・ 昨年度の教訓が活かされていないように感じます。

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

●千葉メディカルセンター

意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 意見あり ・ 意見なし (いずれかを○でお囲みください。)
意見内容 〔意見がある場合には、御記入ください。〕	もう少し受入支援に協力できるよう努めて参ります。

●みつわ台総合病院

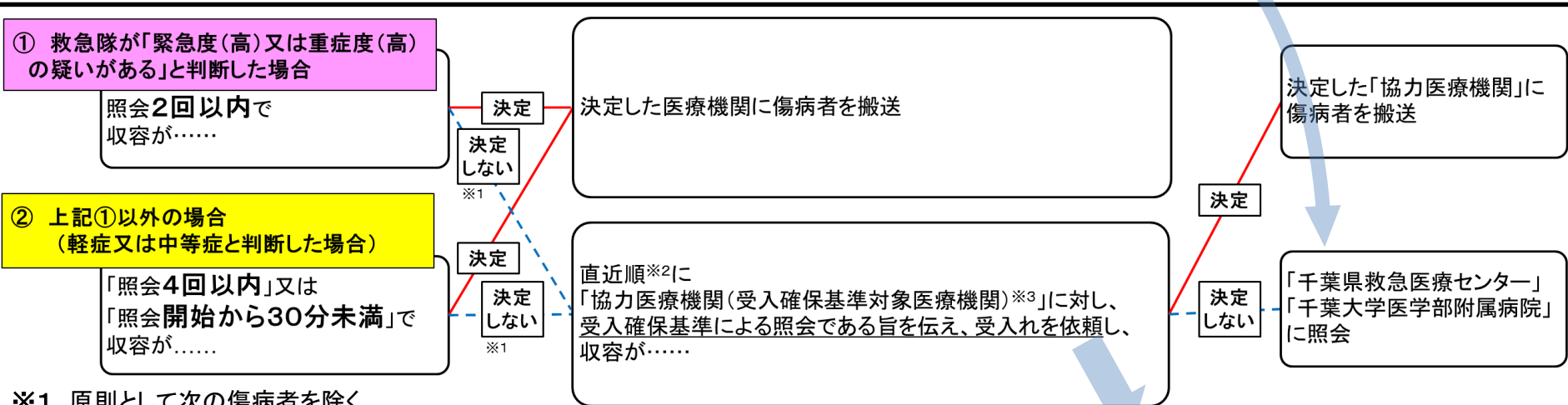
意見の有無	「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、 意見あり ・ 意見なし (いずれかを○でお囲みください。)
意見内容 〔意見がある場合には、御記入ください。〕	昨年12月より、高齢者救急の増加により病棟稼働率が極めて高くなり、通常の救急搬送依頼に対する断わり率が増加傾向にあります。 受入れ支援に対する受け入れ率も消防局のデータによれば、当院は42.9%であるため最低50%以上の受け入れができるよう現場に周知徹底致します。

※ 手書きの意見書については、事務局で打ち直しています。

【変更箇所】

- 協力医療機関（受入確保基準対象医療機関）から千葉大学医学部附属病院を削除（6医療機関 → 5医療機関）
- ※ 受入支援事業による照会で収容先医療機関が決定しない場合のサポートは継続する。

※下図 部分を変更



※1 原則として次の傷病者を除く。

- ア 三次救急医療機関での高度又は専門的な処置を要する傷病者
- イ 心肺停止傷病者のうち、医師により救命が困難と判断された者
- ウ 千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準に定める分類基準において、「妊産婦」又は「小児」に該当する傷病者
- エ 千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準に定める分類基準において、「精神科疾患」に該当する傷病者（ただし、他に傷病があり、その生命が危険な場合又はその症状が悪化するおそれがあると認められる場合で、警察官、関係者等により、医療機関内の安全が確保される場合を除く。）

オ 緊急性が乏しい者及び傷病以外の理由により観察、応急処置、診療等が困難な者

※2 原則、直近順とするが、傷病者の状況と事前に医療機関から提供された当直医師等の情報を考慮し、救急隊が照会先を判断する。この際、必要であれば指令センター常駐医師に指導・助言を要請する。

※3 協力医療機関（受入確保基準対象医療機関） アイウエオ順

千葉市立青葉病院、千葉市立海浜病院、千葉大学医学部附属病院、千葉中央メディカルセンター、千葉メディカルセンター、みつわ台総合病院の6医療機関

■■救急隊の▲▲です。
照会●回（照会開始から●分経過）のため、
「**受入支援**」をお願いします。
□□歳、男性、……
（以下、傷病者情報）



報告

平成30年主要業務（指示・指導及び助言、事後検証、教育）の実施状況について

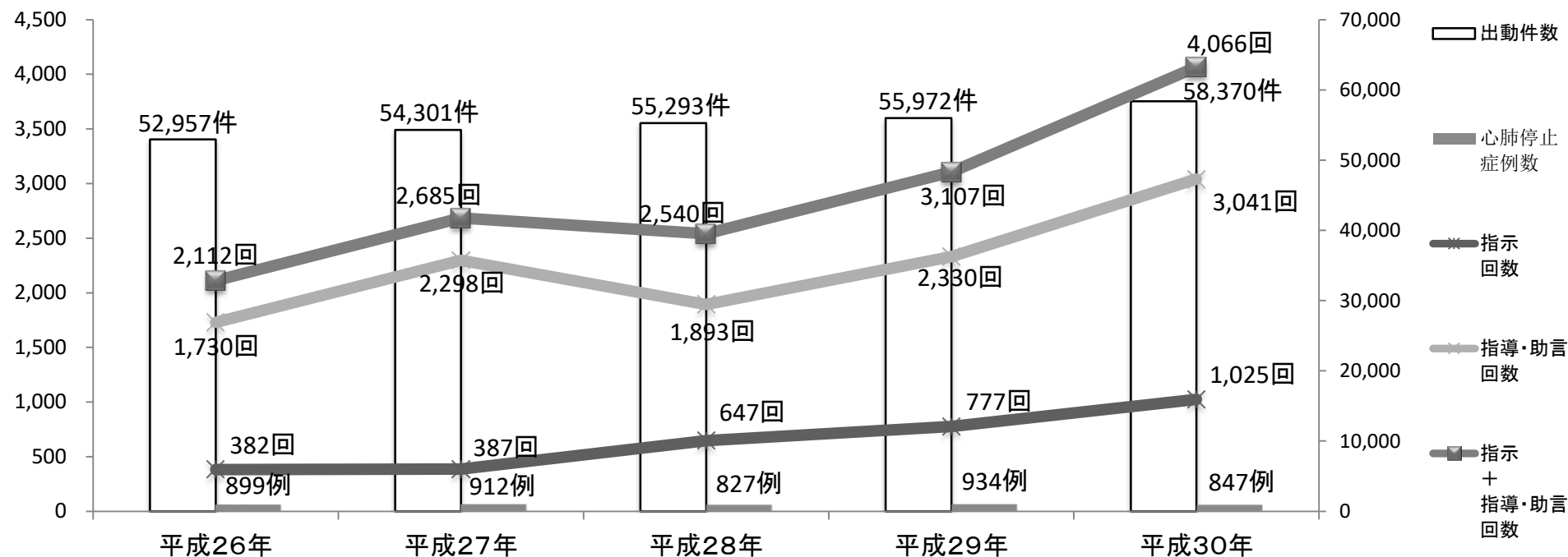
報告要旨

平成30年中の指示・指導及び助言、救急活動事後検証、救急隊員教育の実施状況について報告するものです。

- 資料2－1 指示・指導及び助言の実施状況
- 資料2－2 救急活動事後検証の実施状況
- 資料2－3 救急隊員教育の実施状況

指示・指導及び助言の実施状況(平成30年中)

資料2-1



	指示回数	前年比	指導・助言回数	前年比	指示＋指導・助言回数	前年比	出動件数	前年比	心肺停止症例数	前年比
平成26年	382回	8.8%	1,730回	17.8%	2,112回	16.0%	52,957件	-0.8%	899例	4.9%
平成27年	387回	1.3%	2,298回	32.8%	2,685回	27.1%	54,301件	2.5%	912例	1.4%
平成28年	647回	67.2%	1,893回	-17.6%	2,540回	-5.4%	55,293件	1.8%	827例	-9.3%
平成29年	777回	20.1%	2,330回	23.1%	3,107回	22.3%	55,972件	1.2%	934例	12.9%
平成30年	1,025回	31.9%	3,041回	30.5%	4,066回	30.9%	58,370件	4.3%	847例	-9.3%

平成30年				
	指示	指導・助言	医療機関交渉	合計
昼間帯	586回	1,624回	0回	2,210回
夜間帯	439回	1,417回	0回	1,856回
合計	1,025回	3,041回	0回	4,066回
1日平均	2.8回	8.3回	0回	11.1回

※ 昼間帯は8時00分から18時30分まで、夜間帯は18時30分から翌日8時00分まで
 ※ 「指導・助言」には、「報告」を含む。

まとめ

- ・「救急救命処置に対する指示回数」は、1,025回（1日平均2.8回）であり、前年と比較すると31.9%増加
- ・「指導・助言回数（報告含む）」は、3,041回（1日平均8.3回）であり、前年と比較すると30.5%増加



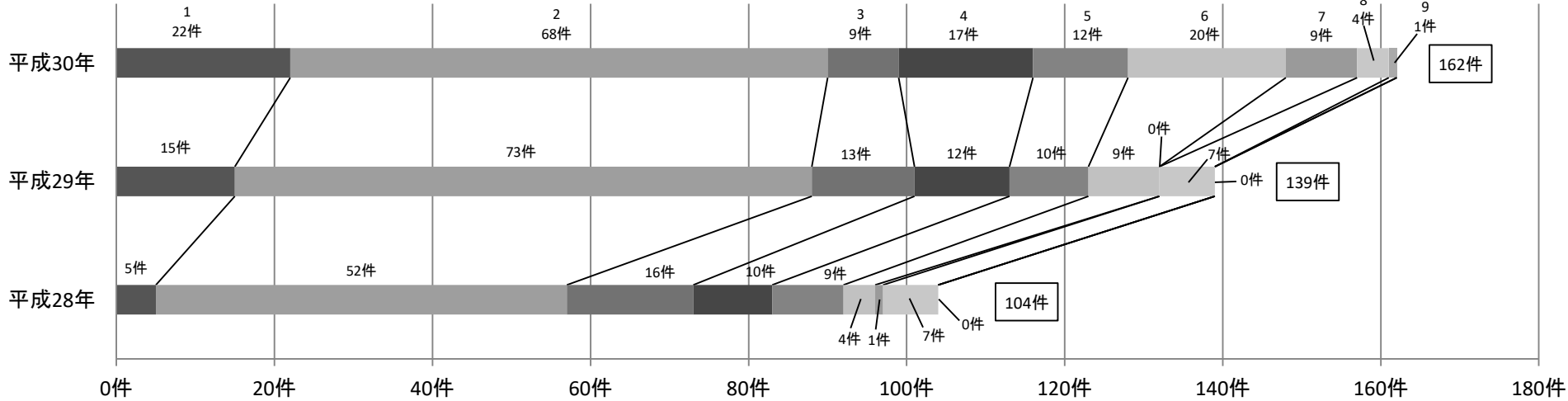
指示回数、指導・助言回数の増加は、特定行為の施行件数が増加したこと等が理由と考えられる。

救急活動事後検証の実施状況(平成30年中)

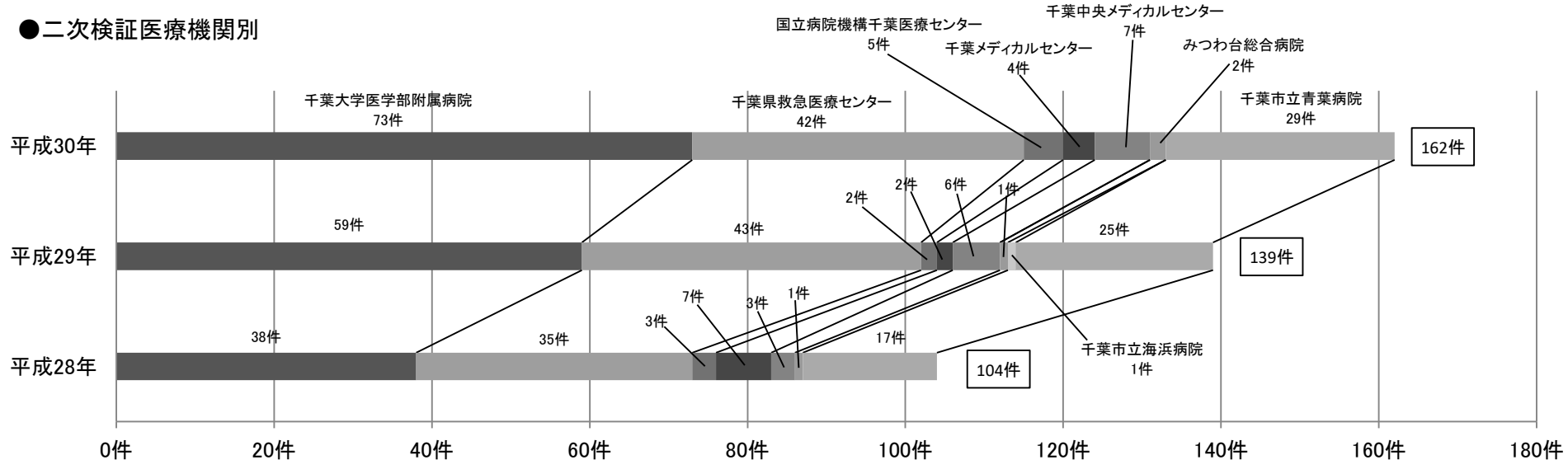
資料2-2

●検証対象区分別

1	2	3	4	5
目撃あり且つバイスタンダー処置があった症例	除細動・アドレナリン投与・気管挿管施行症例	外傷症例のうち意識レベルがJCS100以上又はショックの症例	心肺停止前の静脈路確保及び輸液施行症例	ブドウ糖溶液投与施行症例
6	7	8	9	10
医師が要検証と判定した症例	救急隊員が要検証と判断した症例	ヘリコプターによる救急活動症例	社会的影響が高いと認められる症例	所管課が検証を必要と認めた症例



●二次検証医療機関別



救急隊員教育の実施状況(平成30年中)

資料2-3

救命士就業前病院研修

- 実施期間
平成30年5月5日(火)から6月10日(日)まで
 - 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉県救急医療センター、青葉病院WS
 - 研修者数
11人
 - うち、平成29年度救命士免許取得者：4人
 - 平成27年度救命士免許取得者※：7人
- ※ 平成27年度新規採用者

再教育病院実習

- 実施場所
・救急救命士：千葉大学医学部附属病院、みつわ台総合病院、千葉中央メディカルセンター、青葉病院WS
・救急救命士以外の救急隊員：青葉病院WS
- 実習者数
・救急救命士：125人
 - うち、青葉病院WS3当直：104人
 - 青葉病院WS以外の医療機関2当直+青葉病院WS1当直：21人
- ・救急救命士以外の救急隊員：200人

気管挿管病院実習

- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉医療センター、千葉メディカルセンター、みつわ台総合病院、青葉病院
- 実習者数
7人

AWS病院実習

- 実施場所
千葉医療センター、みつわ台総合病院、千葉中央メディカルセンター、海浜病院
- 実習者数
5人

アドレナリン投与病院実習

- 実施場所
千葉県救急医療センター、青葉病院WS
- 実習者数
12人

※ 気管挿管、AWS、アドレナリン投与病院実習者数については、実習終了日が平成30年中の者を算出した。

処置範囲拡大二行為に係る追加講習

【平成29年度】

- 実施日
平成30年3月14日(水)から16日(金)まで
- 実施場所
千葉市消防学校
- 受講者数
・千葉市消防局救急救命士：20人
- 講師
・講義：千葉大学医学部附属病院 立石 順久医師
・実技：千葉県救急医療センター 稲葉 晋医師、指導救命士

【平成30年度】

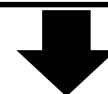
- 実施日
平成30年10月2日(火)から4日(木)まで
- 実施場所
千葉市消防学校
- 受講者数
・千葉市消防局救急救命士：13人 ・千葉県内他消防本部救急救命士：3人
- 講師
・講義：千葉大学医学部附属病院 安部 隆三医師、中田 孝明医師
・実技：千葉県救急医療センター 稲葉 晋医師、指導救命士

※ 本追加講習により、育児休業中及び退職が近い救急救命士を除いた千葉市消防局全救急救命士の受講が完了した。

各認定取得状況(平成30年中)

- ・気管挿管認定・・・8人
- ・AWS認定・・・5人
- ・アドレナリン投与認定・・・12人
- ・処置範囲拡大二行為認定・・・34人

※ 平成29年に実習等を受け平成30年に認定を取得した者を含む。



各認定救命士数(平成31年1月1日現在)

- 全救命士数・・・194人(うち、従事者134人)
- 気管挿管認定・・・97人(うち、従事者70人)
- AWS認定・・・78人(うち、従事者63人)
- アドレナリン投与認定・・・166人(うち、従事者131人)
- 処置範囲拡大二行為認定・・・157人(うち、従事者129人)